

平成15年度 年 報

釧路市立博物館

沿 革

施設 の 概 要

運 営

組 織

職 員

予 算

利用状況

資 料 収 集

調 査 研 究

教 育 普 及

常設展示

特別展示

各種事業

出 版 物

協 力 事 業

寄贈資料一覧

1 沿 革

昭和10年	釧路市立博物館設立委員会が発足。
昭和11年 7 月14日	幣舞町旧市役所別館、元水道建設事務所 2 階を陳列室として「釧路市立郷土博物館」を開館。
昭和24年 2 月 1 日	旧市役所庁舎拡張のため、北大通 5 丁目(株)丸三鶴屋 3 階を借り受け移転開館。
昭和26年 7 月28日	鶴ヶ岱公園内に「釧路市立郷土博物館」新館竣工。
昭和27年 1 月20日	釧路市立郷土博物館新聞創刊（現在の館報）。
昭和27年 4 月 1 日	釧路市立郷土博物館が博物館に相当する施設として指定された。（文部省告示第13号）
昭和27年10月30日	釧路市立博物館が博物館として指定された。（文部省告示第162号）
昭和32年 7 月 2 日	第 5 回全国博物館大会釧路市で開催。
昭和33年 4 月 1 日	入館料が有料となる（大人10円、学生 5 円）。
昭和35年 4 月 1 日	館内資料展示替え、5 年計画で開始。
昭和40年 7 月 8 日	第4回北海道博物館大会釧路市で開催。
昭和41年 7 月14日	創立記念30周年記念事業開催。
昭和42年 1 月14日	博物館移築促進期成会準備委員会が発足し、移築促進についての陳情が行われる。
昭和44年 9 月 3 日	安倍寛次コレクション 3,536点寄贈される。
昭和46年 4 月24日	釧路市立郷土博物館友の会発足。
昭和48年 9 月	釧路市立郷土博物館新館設計調査小委員会発足。
昭和52年10月 4 日	釧路市埋蔵文化財調査センター開館。
昭和55年 6 月18日	釧路市立郷土博物館新館展示等委員会発足。
昭和56年 5 月 1 日	新築工事開始。
昭和58年11月 3 日	「釧路市立博物館」として開館。
昭和59年 7 月 6 日	第23回北海道博物館大会釧路市で開催。
昭和61年 7 月13日	創立50周年記念式典・祝賀会開催。
昭和62年10月 6 日	第35回全国博物館大会釧路市で開催。
平成元年 2 月 9 日	昭和63年度全国博物館指導者研究協議会（庶務・自然史部門）釧路市で開催。
平成 3 年11月 6 日	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会役員会当館にて開催。

2 施設の概要

(1) 所在地	釧路市春湖台 1 番 7 号		
(2) 総事業費	1,911,326,000円		
(3) 敷地面積	4,450.00㎡		
(4) 建築面積	1,528.78㎡		
(5) 延床面積	4,301.76㎡		
(6) 建築構造	鉄筋コンクリート造 地下 1 階・地上 4 階		
(7) 工 期	建築工事着工 昭和56年 5 月 1 日	展示工事着工 昭和57年 6 月 4 日	
	〃 竣工 昭和58年 6 月30日	〃 竣工 昭和58年10月15日	
(8) 各階面積			
1 階	1,500.09㎡	4 階	755.78㎡
2 階	886.75㎡	塔 屋	145.65㎡
3 階	571.17㎡	地 下	422.30㎡
(9) 主室面積			
展示室	1,162.88㎡ (1.24階)	市民研究室	21.84㎡ (3 階)
講 堂	165.89㎡ (1 階)	図書室	103.39㎡ (3 階)
工作室	103.78㎡ (1 階)	実験室	15.54㎡ (3 階)
滅菌消毒室	12.39㎡ (1 階)	冷凍室	10.92㎡ (3 階)
事務室	86.63㎡ (1.2階)	恒温恒湿収蔵庫	34.61㎡ (3 階)
特別展示室	97.95㎡ (2 階)	印刷室	11.13㎡ (3 階)
魚類収蔵庫	30.53㎡ (2 階)	会議室	44.15㎡ (3 階)
開拓記念物収蔵庫	128.00㎡ (2 階)	植物収蔵庫	30.48㎡ (4 階)
応接室	21.97㎡ (2 階)	動物収蔵庫	28.00㎡ (4 階)
地学収蔵庫Ⅰ・Ⅱ	18.77㎡ (3 階)	開拓記念物収蔵庫	91.32㎡ (4 階)
研究室	66.37㎡ (3 階)	機械・ボイラー室	327.79㎡ (地下)
(10) 収容能力			
展 示 室	600人	市民研究室	10人
講 堂	100人	会議室	25人

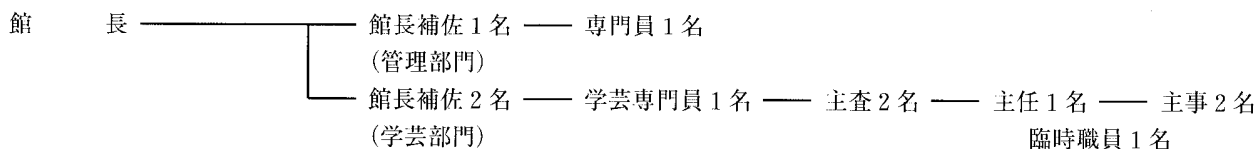
釧路市立博物館

(1) 建築意匠

釧路市立博物館は、釧路市埋蔵文化財調査センター（延床面積973.41㎡）と併置しており、建築設計は釧路市出身の建築家毛綱毅曠氏によるもので、昭和59年度日本建築学会賞受賞作品。タンチョウが羽をひろげた姿をイメージした建物である。階段状の屋根は、博物館の位置する春採湖畔の丘陵の等高線を表現したものである。

3 運 営

(1) 組 織



(2) 職 員

館 長	奥宮 恪	学芸専門員 (学芸員)	山代 淳一
館長補佐	小林 茂	主 査	加藤 春雄
館長補佐 (学芸員)	橋本 正雄	主 査 (学芸員)	戸田 恭司
館長補佐 (学芸員)	針生 勤	主 任 (学芸員)	土屋 慶丞
専 門 員	赤川 祐征	主 事 (学芸員)	高橋 勇人

(3) 私の博物館企画選定委員 (任期 平成15年4月～平成16年3月)

委員長 林田 恒夫 病院事務長	委 員 新妻 賢二 会社社長
委 員 我孫子尚枝 陶芸家	〃 藤田 民子 詩 人
〃 高嶋 幸男 大学教授	

(4) 予 算 (平成15年度)

歳入予算総額	8,164千円	歳出予算総額	56,005千円
博物館入館料	7,658千円	管理運営費	53,550千円
その他	476千円	事業費	1,246千円
		資料収集整備費	186千円
		教育普及活動費	931千円
		調査研究費	92千円

(5) 平成15年度 利用状況

月別入館者状況

月別	開館 日数	個 人				団 体				有 料 入館者	無 料 入館者	入館者 総 数
		一般・大学生	高 校 生	小・中学生	計	一般・大学生	高 校 生	小・中学生	計			
4	25	494	3	167	664	0	0	0	0	664	520	1,184
5	27	865	9	161	1,035	67	0	0	67	1,102	853	1,955
6	25	818	4	88	910	471	0	60	531	1,441	1,842	3,283
7	26	1,174	11	178	1,363	114	0	0	114	1,477	1,500	2,977
8	27	2,415	61	604	3,080	141	0	56	197	3,277	2,332	5,609
9	23	978	11	168	1,157	76	0	461	537	1,694	1,465	3,159
10	26	596	13	82	691	110	40	38	188	879	3,131	4,010
11	25	609	13	96	718	58	0	0	58	776	1,691	2,467
12	23	188	14	33	235	0	0	0	0	235	548	783
1	22	373	13	78	464	17	0	0	17	481	545	1,026
2	24	352	8	65	425	25	0	0	25	450	522	872
3	25	458	7	84	549	58	0	21	79	628	663	1,291
計	298	9,320	167	1,804	11,291	1,137	40	636	1,813	13,104	15,612	28,716

4 資料収集

収蔵資料状況（平成16年3月現在）

区 分	平成13年度 までの累計	平成14年度 新収蔵資料数	平成15年度 新収蔵資料数	合 計
人 文 科 学	21,594	13,452	12,432	47,478
自 然 科 学	56,588	357	576	57,521
美 術 工 芸	215	0	0	215
合 計	78,397	13,809	13,008	105,214

5 調査研究

釧路湿原継続調査、春採湖のヒブナ生息調査、釧路地方の鳥獣類生息調査・昆虫相調査・淡水魚の生態調査・貝化石の調査、イトヨの形態学的生態学的調査、博物館資料の分類整理に関する調査研究・保存処理研究。

6 教育普及

(1) 常設展示

本館の常設展示テーマは「北の大地にくりひろげられた自然と文化」である。北緯43度に位置する釧路地方の自然と歴史を、この地方ならではの素材で7つのテーマに分けて紹介している。

- 1) 1階エントランスホール〔氷期の使者マンモス〕 正面玄関のホールにマンモスの骨格標本が、入館者を迎える。マンモスは、地球上最後の氷河期にユーラシア大陸から北海道へ渡ってきたといわれ、北方圏の博物館であることを主張している。
- 2) 1階展示室〔釧路の大地〕 地球模型で、現在の釧路の地形を概観し、パネルや標準化石によって、現在の釧路が形づけられるまでを説明する。特に湿原については、古地理図や断層断面で湿原のおいたちが理解できるようにしている。
- 3) 1階展示室〔釧路の生物〕 ジオラマにより釧路湿原の植物・魚の種類や形態を、本数や密生の様子生育立地を正確に復元した。針葉樹や広葉樹の入り混じる樹林や、釧路地方に生息する昆虫・鳥獣類の生態を展示している。
- 4) 1階展示室〔釧路の海〕 寒海性の魚を、砂底・岩礁・外洋・深海にわけて紹介し、サケ・コンブ・海獣類や、海鳥繁殖地として知られる大黒島での鳥獣のすみわけを展示している。
- 5) 2階展示室〔釧路の先史時代〕 復元資料として、東貝塚の貝層断面、東釧路人の墓、三津浦遺跡の炉址、フシココタンチャシのアカウミガメがある。古釧路湾のころ、東釧路の貝塚、海岸線の集落、川すじの集落、チャシが築かれたころの各論で構成している。
- 6) 2階展示室〔釧路の近世と近代〕 国内でも最大規模の霧笛のラッパ、川崎船、焼玉エンジンをメインに配置し、霧の港と水産の街を象徴。本市の基幹産業を育てた馬産・林業・炭鉱・漁業の道具や資料写真で、資源を求めて開拓にあたった姿を紹介している。
- 7) 4階展示室〔サコロベの人々〕 釧路のアイヌの人々の生活資料を中心に430点の資料を選び、壁側は狩猟・漁撈・採集・農耕、衣・食・住、信仰・儀式、交通・運搬の9項目に分類し、中央には首飾り・耳輪、喫煙具・育児具・楽器・棒酒匁・鐙などを抽出し展示している。
- 8) 4階展示室〔タンチョウ〕 映像で世界の鶴の種類やタンチョウの四季の生活を紹介。骨格標本と剥製標本、それに羽、気管の実物模型を使いタンチョウの形態を紹介している。展示物が観覧者を取りかこみ、展示物のなかを散策しながら情報の得られる直径10mの大型ジオラマは、冬の湿原で愛の舞をくりひろげるタンチョウのつがいや、6月ころの湿原で卵からかえったヒナ、給餌するタンチョウの親子の姿が美しい背景の中で楽しめる。
- 9) 立体環境音楽 常設展示は8つの小テーマからなるが、これらのテーマの情景を音で伝達するため、展示室には立体環境音楽が採用されている。各コーナーにより、「湿原を吹きぬける風と水の流れ」、「ひろがる北の海」、「時の流れ」、「コタンを吹きぬける風や梢からこぼれる陽の光」、「湿原とタンチョウ」など異なったテーマの音楽が流れ、見学者に五感で訴える展示となっている。

(2) 特別展示

1) 特別展「収蔵資料展」 平成15年4月26日(土)～5月25日(日)

常設展示（展示数4,100点）では展示されていない未公開資料を含めた所蔵資料を展示。地学・昆虫・鳥獣・魚類・歴史・考古の各分野の資料あわせて約250点を紹介した。又、毎週日曜日及びゴールデンウィーク中は、各分野の展示分野の展示解説を行った。

2) 特別展「海の生き物たち」 平成15年7月13日(日)～8月17日(日)

釧路地区水産技術普及指導所の林浩之氏所有のカニ類46種89点、巻貝23種67点、二枚貝25種47点及びヒトデ類18種25点の計112種228点の標本、並びに北海道立釧路水産試験場所蔵の海藻標本60種75点を借用した。それらの当館所蔵の資料を加え、総計197種443点の貴重な資料を展示した。

3) 特別展・私の博物館「日本上空を翔んだ飛行機たちー模型飛行機コレクションー」平成15年9月13日(土)～10月12日(日)

提供者：川越日出雄氏。模型飛行機を作り始めて半世紀という川越氏は、材料作りから塗装まですべて自前で行っている。展示した模型は、本物の50分の1で、ボーイング社のB-29や国産旅客機のYS-11、旧ソ連のミグ-25戦闘機など、日本上空を実際に飛んだ95機を展示した。

4) 特別展・私の博物館「郵便切手のいま・むかしー郵便切手コレクションー」平成16年2月21日(土)～3月21日(日)

提供者：相内正次郎氏。郵便事業の仕事に就いてから切手に興味をもち、50年もの間に収集した切手は国内外1万点以上に及ぶとのことである。それらコレクションのうち、1840年に発行された世界最初の切手ペニーブラックや日本で最初の竜文切手など、787点の切手類を展示した。

(3) 各種事業

月 日	事業名	対象	参加者数
4月5日	春採湖畔花暦調査開始 毎週土曜日 10月迄継続		
4月12日	釧路昆虫同好会総会		
4月20日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	29名
4月26日	特別展「収蔵資料展」		
～5月25日			
5月3日	体験講座「飛ばそう！手作り竹トンボ」	小・中学生	20名
5月8,9日	「キタサンショウウオ生息調査」		
5月15日	NHKプロジェクトX取材		
5月17日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	32名
5月18日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	32名
5月21日	道東3管内博物館施設等連絡協議会15年度総会		
5月23日	博物館友の会総会		
5月25日	「釧路町森林公園探鳥会」	小学生～一般	29名
6月1日	歴史探訪会「まちなみ散歩」	小学生～一般	6名
6月7日	「しらべてみよう春採湖の昆虫ー ー春採湖畔の土壤動物ー	小学生～一般	36名
6月7日 ～22日	「タンチョウイラスト展」 マンモスホール		
6月8日	「北斗湿原探鳥会」	小学生～一般	23名
6月14日	「磯の生物採集会」	小学生～一般	12名
6月15日	講演会「道東のコウモリの生活」近藤憲久氏 於講堂	小学生～一般	20名
6月21日	「コウモリ観察会」於東遠矢 ラムサール条約釧路会議10周年記念講演会「イトウは幻になるか」	小学生～一般 小学生～一般	40名 65名
6月25日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	18名
～7月20日	鳥取歴史博物館提携パネル展「釧路市・鳥取市のあゆみ」於マンモスホール		
6月28日	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	12名
6月29日	「化石クリーニング教室」	小・中学生	17名
7月5日	「しらべてみよう春採湖の昆虫ーガの観察・ライトトラッパー」	小学生～一般	19名
7月6日	史跡探訪会「もっと知ろう北斗遺跡」	小学生～一般	8名
7月13日	特別展「海の生き物たち」		
～8月17日			
7月17日	「私の博物館」企画選定委員会 3階会議室		
7月19日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	27名
7月20日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	23名
	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	32名



特別展「収蔵資料展」



ラムサール条約釧路会議10周年記念講演会「イトウは幻になるか」



化石クリーニング教室



春採湖畔「草花ウォッチング」

月 日	事 業 名	対 象	参加者数
7月24日 ～8月10日	鳥取歴史博物館提携パネル展「釧路市・鳥取市のあゆみ」於コア鳥取		
7月26日	特別展講演会「道東の海に生きるものたち」林浩之氏	小学生～一般	20名
7月27日	「親子の昆虫採集・観察会」於温根内	小学生～一般	20名
	「昆虫の名前を調べる会」於講堂	小学生～一般	40名
7月31日	体験講座「せんべいをつくろう」	小・中学生	29名
8月2日	「しらべてみよう春採湖の昆虫—春採公園のトンボ池—」	小学生～一般	20名
8月3日	「夏休み親子土器づくり教室」	小学生～一般	38名
8月5日 ～8月10日	一般大学博物館実習 8名		
8月8日	「化石レプリカ教室」アンモナイトのレプリカ作成 於講堂	小・中学生	21名
8月16日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	29名
8月17日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	19名
8月23日	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	43名
8月30日 ～9月7日	「おさかなセミナー2003」パネル展 マンモスホール		
8月31日	歴史探訪会「まちなみ散歩」城山周辺を散策	小学生～一般	21名
9月5日	第20回ミュージアムコンサート 「チェロの夕べ」 1階展示室 演奏者：毛利 巨塵氏	小学生～一般	40名
9月7日	史跡探訪会「もっと知ろう北斗遺跡」	小学生～一般	9名
9月13日 ～10月12日	特別展・私の博物館「日本上空を翔んだ飛行機たち—模型飛行機コレクション—」川越日出雄氏 マンモスホール		
9月14日	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	13名
9月20日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	11名
9月21日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	20名
9月26日	午前4時50分十勝沖地震発生 釧路震度6強 28日予定の博物館まつり中止		
10月5日	史跡見学会「もっと知ろう北斗湿原」	小学生～一般	10名
10月7日 ～10月20日	巡回展「移動博物館」於柏木小学校		
10月12日	地形・地質探訪会「藻琴山登山観察会」	小学生～一般	13名
10月19日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	20名
	歴史探訪会「まちなみ散歩」於鳥取神社周辺	小学生～一般	19名
10月21日 ～10月27日	巡回展「移動博物館」於コアかがやき		
10月26日	博物館ツアーガイド英語でチャレンジ	小学生～一般	21名
10月28日 ～11月11日	巡回展「移動博物館」於東栄小学校		
11月1日 ～11月30日	新館20周年記念事業 特別展「私の一枚の写真」		
11月3日	博物館友の会講演会「釧路地方の地名の生い立ちと由来」講師 古谷達也氏	小学生～一般	48名
11月9日	博物館ツアーガイド英語でチャレンジ	小学生～一般	9名
11月22日	学芸員トーク「野鳥かみしばい」 講師 橋本館長補佐	小学生～一般	13名
11月29日	学芸員トーク「魚から見た春採湖」針生館長補佐	小学生～一般	10名
12月6日	学芸員トーク「釧路地方の海岸地形と化石」山代専門員	小学生～一般	11名



特別展講演会「道東の海に生きるものたち」



体験講座「せんべいをつくろう」



夏休み親子土器づくり教室



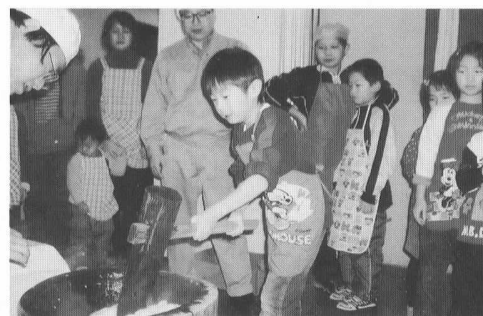
私の博物館「日本上空を翔んだ飛行機たち」



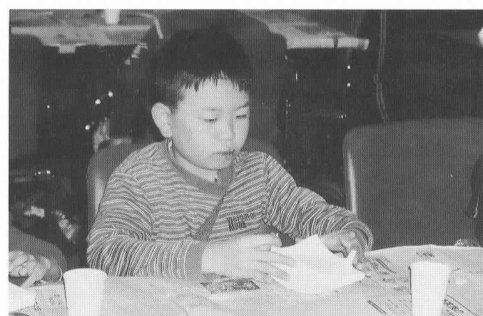
友の会講演会「釧路地方の地名の生い立ちと由来」

釧路市立博物館

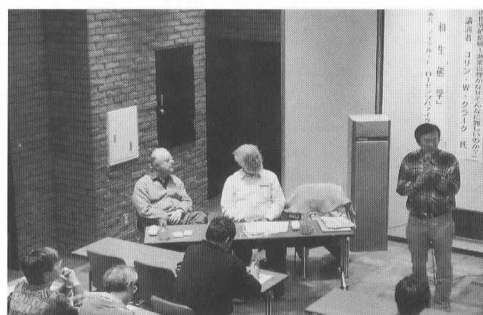
月 日	事 業 名	対 象	参加者数
12月7日	博物館ツアーガイド・英語でチャレンジ	小学生～一般	11名
12月17日	館内清掃のため臨時休館		
12月26日	体験学習「おそなえもちをつくろう」於 講堂・荷解室・車庫	小・中学生	59名
1月11日	「雪と氷の自然観察」於春採湖	小学生～一般	13名
1月15日	「化石レプリカ教室」アンモナイトのレ プリカ作成 於講堂	小学生～一般	18名
1月17日	学芸員トーク「釧路の土器のはなし」高 橋学芸員	小学生～一般	15名
1月24日	学芸員トーク「スズメバチのはなし」土 屋学芸員	小学生～一般	26名
1月25日	博物館ツアーガイド・英語でチャレンジ	小学生～一般	7名
1月31日	学芸員トーク「写真にみる釧路」戸田学 芸員	小学生～一般	18名
2月7日	博物館講座「古文書に現れる動物たち」 橋本館長補佐	小学生～一般	21名
2月8日	「歩くスキーでアニマルトラッキング」 於温根内木道、温根内ビジターセンタ ー・ボランティアレンジャー共催	小学生～一般	71名
2月14日	雪と氷の自然教室	小学生～一般	2名
2月21日 ～3月21日	特別展・私の博物館「郵便切手のいま・ むかしー郵便切手コレクション」相内 正次郎氏、マンモスホール		
2月21日	博物館講座「昆虫図鑑の楽しみ方」土屋 学芸員	小学生～一般	10名
2月22日	博物館ツアーガイド・英語でチャレンジ	小学生～一般	8名
3月7日	博物館ツアーガイド・英語でチャレンジ	小学生～一般	9名
3月11日	特別講演会「生態学から見た地球の未来」 講師：コリン・W・クラーク氏、マイケ ル・ローゼンバイク氏、吉村仁氏 共済 釧路市動物園他	小学生～一般	80名
3月14日	身近な自然調査（鳥）説明会	小学生～一般	80名
3月19日	博物館展示資料データベース化事業終了		



体験学習「おそなえもちをつくろう」



化石レプリカ教室



特別講演会「生態学から見た地球の未来」

(4) 出版物・刊行物

- ・釧路市立博物館館報：昭和27年1月に釧路博物館新聞として発刊以来、平成15年3月号をもって380号に達した。
B5版、12頁、800部、年4回刊行。
- ・釧路市立博物館紀要：昭和47年3月に第1輯を発刊、平成16年3月に第28輯を刊行。
- ・博物館総合案内：B5版、カラー87頁、常設展示物を解説した総合ガイドブック。
- ・解説シリーズ：B6版、釧路の自然・歴史をやさしく解説した小冊子、シリーズ9まで刊行。

7 協力事業

(1) 北海道博物館協会、道東3管内博物館施設等連絡協議会への協力

(2) 関係団体への協力

釧路市立博物館友の会、釧路自然保護協会、日本野鳥の会釧路支部、釧路考古学研究会、釧路昆虫同好会

(3) 国、道、各市町村（教育委員会含む）、博物館その他機関への協力

環境省庁

(4) 博物館実習

平成15年7月～平成16年2月：北海道教育大学教育学部釧路校19名

平成15年8月5日～平成15年8月10日：一橋大学1名、桜美林大学1名、札幌学院大学1名、札幌大学1名、東海大学1名、敦賀短期大学1名、立正大学1名、東北芸術工科大学1名

8 寄贈資料一覧

番号	受入年月日	資 料 名	点数	寄 贈 者
1	2003. 4. 1	蚊帳	1	中家 孜
2	4. 4	北海道航空写真図	1	釧路市教育委員会 (保管転換)
3	4. 10	絵葉書	93	中江 成徳
4	4. 12	石炭箱	1	高嶋八千代
5	4. 16	タイプライター	1	森越 英子
6	7. 2	硬貨	74	川瀬 英治
7	7. 30	絵葉書	100	水野 延枝
8	8. 14	石炭ストーブほか	7	石川 盛康
9	8. 19	窓鋸ほか	3	成田 文昭
10	8. 22	トランクほか	3	永田ゆり子
11	9. 2	葉きょう	2	木田 昭六
12	9. 18	ヒシクイ・ヤマセミ剥製	2	名畑 昭良
13	10. 3	こてほか	4	小泉 満
14	10. 10	写真	41	村山 弥生
15	10. 22	木桶ほか	4	海老根初江
16	10. 23	引札ほか	7	伊藤 茂乃
17	11. 6	アンモナイト	24	中下長四郎
18	11. 13	写真	2	鈴木 勇
19	11. 20	消防さしこ	1	斉藤キヌ子
20	11. 27	半印纏ほか	7	小関波津三
21	11. 27	菓子鉢ほか	8	近藤一燈美
22	11. 28	サンカノゴ (剥製)	1	鈴木 キヌ
23	2004. 1. 9	灰皿・書籍	2	岡安 竑宗
24	1. 29	航空写真・行李	各1	市労政係
25	2. 24	植物錯葉標本	2,635	人見 行子
26	3. 9	写真ほか	42	柴野 美幸
27	3. 16	書籍ほか	8	川口 忠顕